

4 学校教育計画

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(1)	学習活動 重点1① 重点1②	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を育成するため、学習習慣の確立と学習意欲の向上を目指す。 ○生徒が能動的に学習できるような学習環境の構築を図る。 ○わかり易い授業・定着度の高い指導方法などを模索する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生に対してのオリエンテーションや年度当初の授業を通して、国数英を中心とする教科の学習についての初期指導を行う。 ○生徒自身が学習の成果を蓄積していくよう、意識づけを行う。 ○学習時間を調査し、学習習慣の実態を把握する。 ○教科面談や担任面談を通して学習方法の指導を行い、学習意欲の向上と学習内容の定着につなげる。 ○アクティブラーニング型授業やICT機器を活用した授業に関する研究・実践の機会を設ける。
(2)	学校生活 重点2① 重点2②	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の積極的、自主的な態度を育てるとともに、責任感を持って行動できる生徒を育てる。 ○基本的な生活態度（服装・頭髪・時間・挨拶）の育成し、マナーやルールなどの社会性を身に付けさせる。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に運営を行う「全校大門タイム」を実施する。 ○学校行事等で生徒による自主的な委員会活動を推進する。 ○交通安全指導・教室、ネットトラブル防止教室、薬物乱用防止講話等を通して、規範意識の向上を目指す。
(3)	進路支援 重点3① 重点3②	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の可能性を発見し、個性や能力に応じた進路目標を設定し、実現できるように支援する。 ○進路意識の高揚を図るため、キャリア教育を推進する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオに対応した「Classi」を活用して、行事や学習への取り組みについての振り返りや、キャリアパスポートを作成し、自己の適性を意識させながら、職業・大学などの研究を深め、進路目標について考えさせる。 ○学習・生活実態調査を実施し、生徒の実態を踏まえて担任との個人面接により、家庭での学習習慣を定着させ、目標実現のための学力をつける。 ○進路ガイダンス(1年)、進路研修旅行(2年)、高大連携事業(情報コース)、進路講演会(全学年)等を実施し、進路意識の高揚を図る。

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(4)	特別活動	目標	○学校行事、地域ボランティア活動、部活動等で生徒の積極的・自主的な参加を通して、個性の伸長を図るとともに自主的な生活態度や好ましい人間関係、思いやりの心を育てる。
	重点4① 重点4②	計画	○球技大会や学園祭において、生徒会を中心に生徒の意見や要望を集約し、生徒の主体的な企画・運営となるようにする。 ○ <u>生徒会を中心に、地域ボランティア活動の内容や計画、生徒への広報や募集等の方法について考えさせ、一人でも多くの生徒が参加できるようにする。</u> ○ <u>部活動では、顧問との連絡を密にし、健康安全に留意しながら、積極的・主体的に活動できるような日々の活動のスタイルを確立する。</u>
(5)	その他	目標	○情報教育の推進を図るとともに、情報教育のあり方について継続的に見直しと改善を図る。 ○学校のICT環境を整備し、教員のICT指導力の向上を推進する。
	重点5① 重点5②	計画	○ <u>情報課題研究(情報コース及び文系選択)の授業において、生徒が研究の方針や手法を確認する機会を増やし、研究の信頼性を高める。</u> ○ <u>今年度導入予定の「1人1台タブレットPC」を使用できる環境を整備するとともに、講習会やマニュアルなどを充実させて、ICT機器の授業での活用を促進する。</u>